

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	山下 明美		
授 業 科 目	カラーコーディネート論	科目区分	専門科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1年次・前期（集中）
授業の主題 標 目	<p>デザイン、造形や日常生活と密接な関わりを持つ「色」を知覚や心理などさまざまな視点から捉え、その基礎を学ぶ。また、基礎理論のみならず、背景にある時代、社会や文化などとの関係からその応用や可能性を考察する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 色の知覚、生理、心理作用など色彩の基礎を理解する。 2. 色の歴史的背景や文化を考察し、デザイン表現に活かす力を身につける。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. カラーコーディネーションとは 2. 色の知覚：色を見るしくみ (1) 光と色 3. 色の知覚：色を見るしくみ (2) 目の働きと色覚 4. 色の見え：色の心理的作用 5. 色の見え：色再現と照明 6. 色材と色の表示 7. 色のイメージ (1) 色彩感情 8. 色のイメージ (2) 嗜好色, 流行色 9. 人間と色：色の歴史 (古代～中世) 10. 人間と色：色の歴史 (中世～近代) 11. 人間と色：日本の色 12. 色彩調和と配色について 13. 配色の種類 14. 配色テクニック 15. まとめ <p>理解を深めるために、色収集レポートなどを課すことがある</p> <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	<p>レジュメを配布する。 参考書等は授業内で紹介する。 参考書：色彩心理入門 近江源太郎 著 日本色研事業 日本色研 新配色カード 199a (日本色研事業)</p>				
準備学習の 具体的内容	身の回りの色、美術作品やデザイン、環境の色の在り方、見え方に注目する。				
評価の方法 基 準	<p>期末レポート 90%</p> <p>授業への参加態度 10%</p> <p>出席率が2/3以上で、最終レポート提出を評価条件とする。</p>				
履 修 上 の 注 意	<p>進行状況により授業内容の順序を変更する場合がある。</p> <p>色彩検定等を目指す場合は、講義で触れない内容についても自主的に学んでいくこと。</p>				